

# 第1回 鶴川西地区小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事録

開催日時	2023年5月22日（月） 9：30～11：39	
開催場所	町田市立鶴川第三小学校 視聴覚室	
出席者 (敬称略)	委員	岩永委員、沼尻委員、勝端委員、柄澤委員、竹村委員、功刀委員、田中委員 仲村委員、浅沼委員、◎鰭坂委員、○悴田委員 (◎：会長、○：副会長)
	事務局	指導課、教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、 保健給食課、教育センター、防災課
傍聴者	0名	

## 議事内容（敬称略）

はじめに 学校教育部長挨拶及び委員委嘱

学校教育部長 鶴川西地区においては、2022年2月から、新たな学校づくり基本計画検討会を開催した。全12回にわたって具体的な検討を行い、この検討結果を踏まえて教育委員会として、2023年3月に鶴川西地区小学校新たな学校づくり基本計画を策定した。

本協議会では、基本計画の進捗を共有していくことを中心とするが、そのほかにも、保護者の方々から多くのご意見をいただいている通学路の安全対策や、通学時における児童の負担軽減などに関しても具体的な協議を行いたい。そのほか、鶴川第四小学校の建て替えに伴う新たな避難施設機能の検討などについても、取組状況や進捗状況などのお話をさせていただく。

新たな学校づくりとは、建物の新築計画というわけではない。学校は、児童・生徒の学びの場であるだけでなく、地域の拠点としての学校にもなるようつっていきたいという思いである。施設だけではなく、運営も一体となって一新するのが新たな学校と考えている。この取組を進めていくに当たり、各組織や団体を代表して集まっていたいただいている皆様と、未来の子どもたちのために様々な議論をさせていただき、教育委員会や学校のみならず、全員でこの取組を進めていきたい。

新たな学校推進課 続いて、委員の皆様へ、本協議会の委員委嘱書の交付を行いたい。

〔 委嘱書交付 〕

### 1 鶴川西地区小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会の設置について

新たな学校推進課 （資料1説明）

（会長・副会長選任）

### 2 委員自己紹介及び開催日程

（各委員自己紹介）（資料2-2説明）

### 3 町田市鶴川西地区小学校新たな学校づくり基本計画及び町田市鶴川西地区小学校新たな学校づく

## り建設基本計画について

新たな学校推進課 （資料3-1、3-2説明）

施設課 （資料3-3説明）

### 4 報告事項

（1）新校舎建設等のスケジュールについて

新たな学校推進課 （資料4-1説明）

（2）工事期間中の避難施設について

防災課 （資料3-2を用いて説明）

（3）新たな学校づくり説明会の開催について

新たな学校推進課 （資料4-2説明）

### 5 新たな学校への歴史の継承について

新たな学校推進課 （資料5-2説明）

#### 〔 ワークショップ 〕

#### Aグループ

デジタル保存について、今は色々な機能の性能がいいカメラがあるため、必要だ  
と思うものを全て写真に撮り、ハードディスクに入れ保管する。地域の歴史を知り  
たいときに必要なものデータが見ればいいので、とにかくデータで残す。

卒業制作については、希望する人に取りに来てもらえるよう一定期間公開し、取  
りに来ないものは処分。ただし、校歌の木版など1人ずつ切り分けられないような  
ものである場合は、新しい学校の校歌の横に両校の校歌を掲示するというような方  
法で、残していければとの意見が出た。

メモリアルルームについてはある方がいい。

植栽については、建設に影響しない古木は残しておく。切った木材で必要であれ  
ば、欲しい方々に使ってもらえればとの意見が出た。

#### Bグループ

デジタル保存について、今後の子どもたちに必要なものであるかどうかで残すか  
を判断したほうが良いという意見があった。また、それを活用できるような形で保  
存してほしいという意見が出た。

卒業生への返却については、個々への返却は難しいので、イベントなどで周知す  
る。ただ、イベントまでの間、物品の管理や保管場所等についても課題があるとの意  
見が出た。

物品を残す際は基準が必要。卒業制作についても同じある。

新たな学校推進課 （資料5-2説明）

〔 ワークショップ 〕

Aグループ 校歌の残し方について、地域で音楽祭などをやり、地域の人と一緒に校歌を歌うなど、歌った曲を残して、ホームページで聞けるようにする。またCD-ROMで録音するなどの方法があるとの意見が出た。また、夕方の4時半や5時に鳴っている有線から流れる音楽を、鶴川第二小、鶴川第三小、鶴川第四小の順で季節によって変えられたらいいとの意見が出た。

Bグループ 残せるCDを作るのであれば、その音源は子どもたちが作るような形にするとの意見が出た。そもそも子どもたちの心に残っていればいいので、無理に音源を残そうということは要らないとの意見が出た。また、音源ではなく、校歌に関わる物品として必ず残してほしいという意見が出た。夕方のチャイムの音源など形を変えてうまく使えないかとの意見も出た。

新たな学校推進課 (資料5-2説明)

〔 ワークショップ 〕

Aグループ 現在校舎の姿の記録の仕方について、外観はドローンを飛ばして記録したいとの意見が出た。撮影については卒業生やお父さん方などにメンバーを募ると、それに長けている方々がいて、いろんなことで録画することができるのではないかとこの意見が出た。それから、和室があるというのが鶴川第三小の特徴なので、和室を開放する時間を、一定期間公開するなど、工事が始まる前にいろんな方に学校を使ってもらいたいとの意見が出た。教育活動で使用できるものは継承するという事で、両校のいいところの取組をそのまま継承していきたいとの意見が出た。

Bグループ ドローンを使った映像などで写真を残したいとの意見が出た。写真を残すことで十分ではないかという意見もある。校舎を取り壊す前や最中、取り壊した後にイベントをやるとの意見が出た。また、形だけではなくて校舎にまつわるエピソードをまとめたりすることも必要との意見も出た。また、落語のような形で、校舎にまつわることを昔話のような形で残していくということもアイデアの一つとして出た。

会長 (閉会のあいさつ)